

夏休み 葉っぱの研究



植物と香りを通して心と体を知る



冬休み 苔玉作り



秋の催し

秋の緑センフェス出店者募集▼

秋の緑センフェス
2024.10.19 (土)
出店者募集 (9/15まで)

出店者 \ 緑の中で楽しもう /

ぼしゅう中

緑いっぱいの園内に出店してくれる人を募集しています。
軽食販売、物品販売、ワークショップ、体験もの、フリーマーケットなど
詳しくは申込書(Googleフォーム)でご確認ください。

秋の緑センフェス▼

緑センフェス

~緑と音のハーモニー~

2024

2024.10.19 (土)

福岡県緑化センター

1 田主丸中学校吹奏楽部

11:00~11:20

2 ボランティア歌声デリバザー

12:10~12:20

3 PONS SHOW YOU

12:20~13:00

4 オカリナとギター演奏会

13:30~14:30

5 表千家平川社中による野点

11時~15時

6 飲食・ワークショップ等

11時~15時



◀ 緑の教室
ガーデニングコース

2024.11.7~8 (木・金)
緑の教室ガーデニングコース
参加者募集中 (10/20まで)

Minou de FES

2024.10.27 (日)

地元田主丸地域が主催する
大規模音楽イベント

「耳納deFes」が当センターで
開催されます

福岡県緑化センター 利用案内

〒839-1213 久留米市田主丸町益生田1125
電話 0943-72-1193 FAX 0943-72-1558
メール info@ryoku-cen.net
休館日：毎週月曜日 (月曜日が休日の場合は、その日以降の最初の平日)
年末年始 (12月29日~1月3日)

福岡県緑化センター
LINE▼ ホームページ▼



緑化センターだより

No.93

2024.9発行



福岡県緑化センター

指定管理者：(一社)福岡県樹芸組合連合会

緑化センターはキノコの宝庫

緑化センターでは、多くの樹木とともに四季をつうじて様々なきのこを觀賞することができます。特に、雨が降るとたくさんのきのこが出やすくなりますので「きのこ図鑑」片手に園内散策を楽しんではいかがでしょうか。

あざやかな色、地味な色、また奇抜な形をしているきのこもあり、足の部分、傘の部分をよく観察すると植物とは異なるきのこのふしぎな世界にふれることができます。

毒キノコもあるので、
むやみに食べないように

ことし6月末に見られた主なキノコ ~in緑セン~

キクラゲ



食用のきのことして人工栽培されている。日本をはじめ東アジアでよく食されている。

ヤナギマツタケ



初夏にカエデ、ニレなどの腐朽部や枯れ木に発生。食用きのこであり茎はシャキとした食感。

ヒメホコリタケ



梅雨期から秋にかけて芝地、草地や林内の周辺に発生。傘の径は2cmくらいの類球形である。

ヘビキノコモドキ (毒)



夏から秋にかけて、シイ・カシ・クヌギ林等の地上部に発生。傘のいぼは黒褐色。

ウラベニガサ



傘が開けばほぼ平になり、その表面は灰褐色で放射状の繊維紋がある。広葉樹の枯枝に発生。

ナラタケモドキ



広葉樹の倒木や生立木の根際に発生。根や地際部から感染し、樹木を枯死させる。

ツマミタケ



裂開して柄部と腕を現す。腕は3~7本で頂部で連結するが、写真では雨滴等で離れている。

アイバシロハツ



傘が落葉を押し上げるように生える事が多い。ヒダ全体が淡い青緑色をしている。

秋から冬に赤い実を付ける樹木（鳥が食べる実を付ける樹木）

緑化センターでは、季節に応じて樹木が様々姿をみせます。例えば春にはウメ、サクラやナンジャモンジャなどのピンクや白い花が、秋にはメタセコイア、ナンキンハゼやモミジなどの黄色や赤色の紅葉とサンシュユ、ナンテンなど赤い実のなる木が楽しめます。秋に成熟した赤い実は鳥に食べられます。樹木の実を食べた鳥はよそへ飛んでいき、糞と一緒に種が地表に落ち、発芽してその樹木の分布を広げます。緑化センターで2月に行う野鳥観察会では、25～30種の鳥が見られます。

今回は、秋に赤い実を付ける樹木とその実を食べる緑化センターでも見られる鳥を紹介します。

○サンシュユ

ミズキ科の落葉小高木で春に小さな黄色い花を付け、秋には大きさも形もピーナッツに似た赤い実を付けます。この赤い実をジョウビタキ、エナガ、ムクドリなどが食べるためにやってきます。



ジョウビタキ

○ナンテン

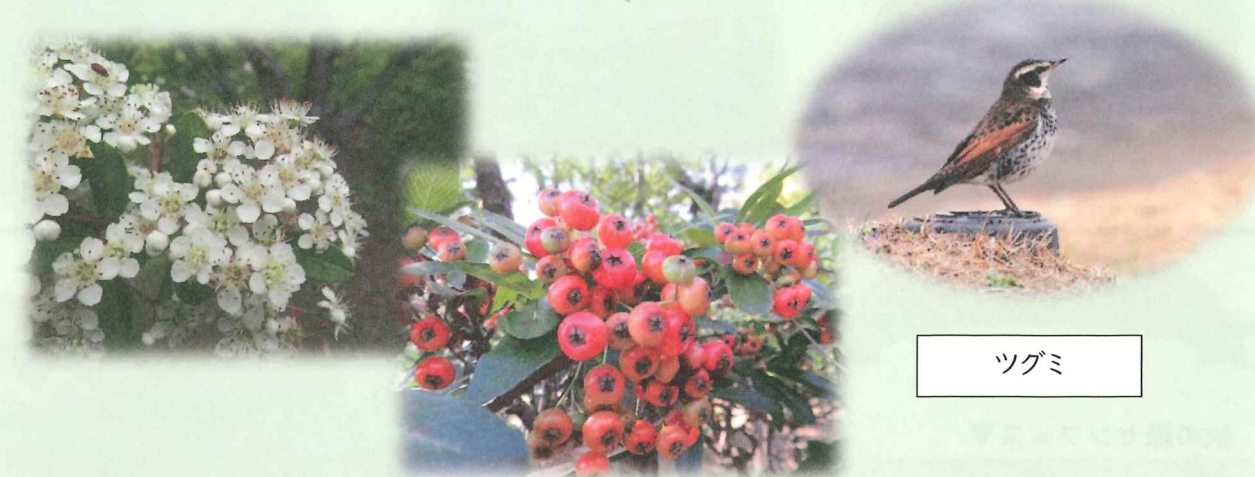
メギ科の常緑低木で観賞用に庭木として植えられています。葉は互生し3回奇数羽状複葉で、冬に葉が赤くなる品種もあります。晩秋から冬にかけて丸い赤い実を頭頂部に付けます。ヒヨドリ、エナガなどがこの実を食べます。



ヒヨドリ

○タチバナモドキ（ピラカンサー）

バラ科の常緑低木で庭木や生垣に使われます。葉は互生または束生で光沢があり枝に短いトゲがあります。初夏に白い花を付け、秋から冬にかけて赤～橙色の実がたわわに実ります。これをめがけてヒヨドリ、ツグミ、オナガ、シロハラ、アカハラ、メジロなどが来ます。



ツグミ

○ハナミズキ

ミズキ科の落葉小高木で別名アメリカヤマボウシといい、花、実、紅葉が美しいため庭木や公園、街路樹に植栽されています。春に枝の先に先端が凹んだ白い花（総苞片）を付け、秋に成熟した赤い実を付けます。ジョウビタキ、メジロ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ツグミ、ムクドリ、エナガ、イカルなどが食べに来ます。



シジュウカラ

鳥の写真提供 田中孝一氏 インスタグラム <https://www.instagram.com/cfnz7607>

参考文献

野田坂 伸也 (2011) 木を選ぶ 野田坂造園樹木図鑑,株式会社アブック社,P409

鳥と実については、WEB検索を参考

緑センフォトライブラリのご案内

緑センではあなたの「渾身の一枚」をいつでも募集しています。その写真を緑センのガイドブックやホームページで使用した場合は、花と緑のギフト券を差し上げます。詳しくは緑センのホームページでご確認ください。

